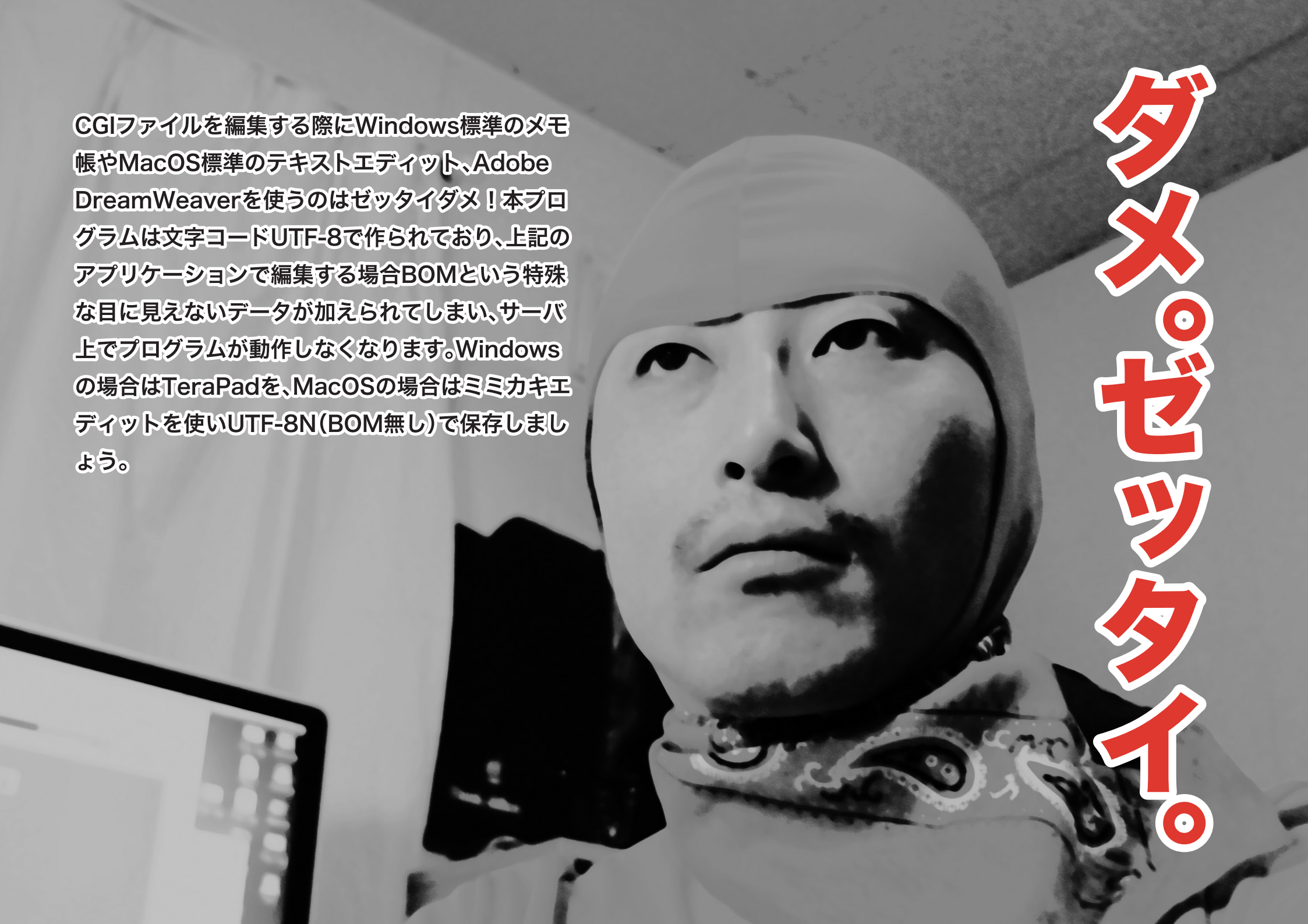


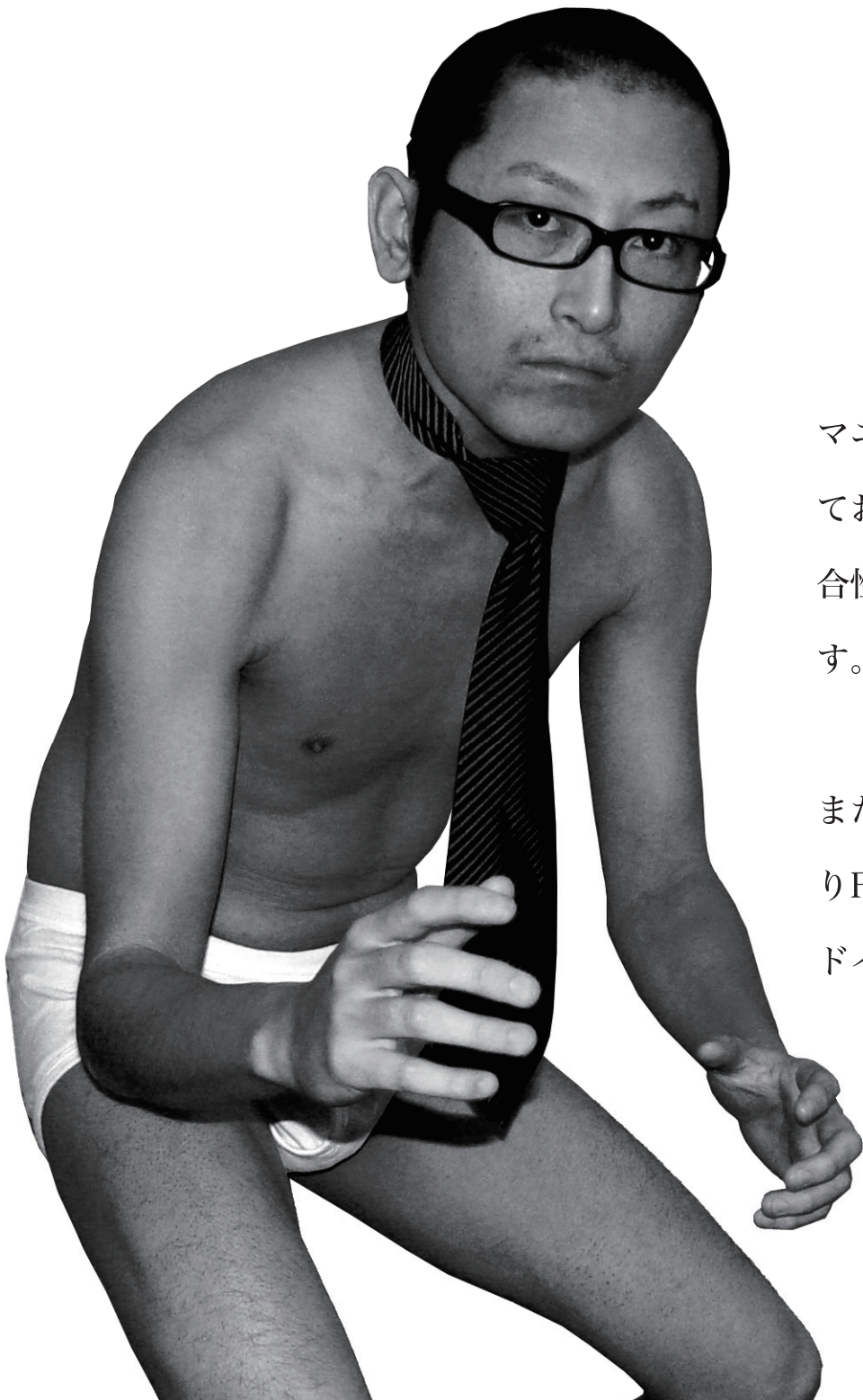


メールフォームプロはさらなる領域へ

CGIファイルを編集する際にWindows標準のメモ帳やMacOS標準のテキストエディット、Adobe DreamWeaverを使うのはゼツタイダメ！本プログラムは文字コードUTF-8で作られており、上記のアプリケーションで編集する場合BOMという特殊な目に見えないデータが加えられてしまい、サーバ上でプログラムが動作しなくなります。Windowsの場合はTeraPadを、MacOSの場合はミミカキエディットを使いUTF-8N(BOM無し)で保存しましょう。

ダメ。ゼツタイ。





ご注意ください

マニュアルを作るのが面倒なため、マニュアルはかなりテキトーになっております。ファイルの一覧や機能の一覧は特に最新バージョンとの整合性がとれておりませんので何卒生暖かい目で見守って頂けると幸いです。

また、メールでのサポートは基本的に行なっておりませんので、可能な限りFAQをご利用ください。理由はメールでサポートするとホントにシンDOIからです。そこら辺もご理解の程、お願い申し上げます。

「メールでのサポートだけは勘弁な」と言うが如き開発者の勇姿です。



2.1.3で追加された新機能について

DETAILED EXPLANATION OF EACH FUNCTION

メールフォームプロ2.1.3に追加された新機能の使い方と紹介。

vCard添付機能	<p>2.1.3で新たに追加された機能です。メールフォームから送信されるメールにvCardを添付して受け取る事ができます。vCard対応のメーラーをご利用の場合は、別途アドレス帳などへの登録作業の必要がなくなります。</p> <p>この機能をご利用いただく場合はconfig.cgiのvcard設定をONにしてvcard.vcf.cgiをお好きなかたちに編集してください。vCardのフォーマットについては各々勝手に調べればいいじゃない。</p>
jsでインタラプト	<p>commonsフォルダ内に新たにmfp.extensions.jsというスクリプトファイルが追加されています。</p> <p>MFP_EX_ONLOADはメールフォーム読み込み時の最初にキックされる関数。</p> <p>MFP_EX_ELEMENT_CHECKはエレメントをチェックするときにキックされる関数。</p> <p>MFP_EX_SUBMITはsubmit時にキックされる関数です。</p> <p>使わない人のほうが多いと思うので、Javascriptでさらに拡張したいぞ！という意気込みのある人だけ使ってください。</p>
完全UTF-8モード	<p>config.cgi内で<code>\$config['utf8'] = 1;</code>と指定することで文字コード変換を行わず、UTF-8のままメールを送信します。UTF-8に完全対応しているメーラー以外では文字化けっぽく表示されますが、文字が破損しているわけではなく、文字コードをUTF-8に変更することで閲覧できると思います。中国語などの2バイト圏に対応したい場合はUTF-8モードをONにしてください。</p> <p>初期設定ではOFFになっています。</p>
エラーの言語切替	<p>commonsフォルダ内に新たにmfp.lang.jsというスクリプトファイルが追加されています。</p> <p>エラーなどの言語を日本語以外にしたい場合などはこのファイルを編集してください。</p> <p>プリセットで英語が入っております。</p>



まずはじめに

FOREWORD

この度は、Mailform Proをダウンロードして頂き誠にありがとうございます。

まずはじめに言っておきたいのが、和田で妄想するのはやめてくださいという事だけです。次に会うときは夢で逢いましょう。

このプログラムは「究極のユーザビリティ」をコンセプトに開発されたメールフォームです。なるべく親切に・シンプルで・理解しやすく・送信に至りやすい事をいろいろと無い脳みそ絞って考えた結果がコレだっ！

前バージョンでいろいろご指摘を頂いた複雑怪奇な部分の多くは今回fixされたんじゃないかなと思いますし、設置難度も確実に下がったんじゃないかなと。

後述の注意事項にもありますが、ご利用に関しては個人利用・商用利用を問わずフリーでご利用いただけます。著作権表示なども必要ありません。著作権表示等の義務は発生しませんが、うまく設置できた暁には恒例ですが北海道は札幌の方角に向けて一礼をお忘れなく。

そして免責事項として、このプログラムで発生した如何なる損害をも負いかねますので、その点は何卒、ご容赦ください！

さあ、それじゃあ設置マニュアルの旅へLet's GOだってばよっ。

動作環境

このプログラムの動作環境について。

+ SERVER	サーバの動作環境
+ Perl	Perlが動いて
+ sendmail	sendmailかpostfixが使える
+ Jcode	Jcodeモジュールが使えること

+ BROWSER	
+ IE	6.0 ※MacのIEは非対応
+ FireFox	2.0
+ Safari	2.0
+ Chrome	1.0
+ Opera	9.0
+ iPhone	

※ブラウザシェア99%以上は動きます。



効果を高めるために

TO HEIGHTEN AN EFFECT

このページではメールフォームの効果を高めるためのコツを解説しています。

入力項目は必要最低限に

メールフォームを設置する際、ついつい項目が多くなりがちです。しかしどうでしょうか。あなたが項目が多いフォームを目の当たりにした時に「入力するのが面倒だな」と感じることはありませんか？

あなたがそう感じるように、あなたのホームページを見ている人も同じように項目が多いフォームに入力したくはありません。入力項目は必要最低限を用意して、メールのやり取りの中でヒアリングしましょう。

メール以外の問い合わせ方法も併記

メールフォームに文字を入力するのが苦手な人も大勢おられます。そんな時、営業時間や電話番号がわかれば手軽に問い合わせをする事ができますよね。すべての人がパソコンに詳しいわけではないので、お問い合わせページには必ずそのための配慮も忘れないでください。

メールの返信には気持ちを込めて

メールフォームプロでは相手がメールの送信に至ったまでの時間(秒数)がわかるようになっています。メールの返事を書く際は、ちょっとだけ気に留めてみてください。時には何十分も熟考した後、一生懸命入力してメールを送信してきてくれている人もいます。

決して失礼の無いよう心を込めて返事を書きましょう。

躊躇わせない・迷わせない

メールフォームの項目や、メールフォームのタイトル自体に閲覧者が疑問を抱かないよう、細心の注意を払いましょう。入力項目には可能な限り例文を入れたり、どういう事に対しての問い合わせなのか、区分を設けたりする事によって「ここから問い合わせても大丈夫かな？」と思わせないこともコンバージョンレートを高める上で大切な要素です。



ファイルの説明

EXPLANATION OF FILES

このページでは各ファイルの役割やパーミッション設定の説明を行います。

静的ファイル群(非プログラム系)

静的ファイルは画像やHTML、CSSなどプログラムではないファイルです。プログラムをcgi-bin内に設置しなければならないサーバなどでは、cgi-bin以外の公開フォルダに設置するファイルになります。

+ example.html	サンプルのHTMLファイル
+ thanks.html	サンクスページのサンプルファイル
<input checked="" type="checkbox"/> commons	CSSやJavascriptを入れているフォルダ
+ mailform.css	フォームのCSS
+ mailform.js	メールフォームの制御スクリプト
+ jquery.js	オープンソースライブラリ
+ dateselect.js	日付をドリルダウンで選択するやつ
+ thanks.js	サンクスページで値を受け取るスクリプト
+ se.swf	音声ガイダンス機能を使う場合のFlash
+ confirm.mp3	確認画面で出力される音声(和田ボイス)
+ error.mp3	エラー時に出力される音声(和田ボイス)
+ _include.css	サンプルのHTMLのスタイル
+ trace.js ※2.0.7	どこからサイトに辿り付いたかをトレース
+ choice_date.js ※2.1.2	予約日などを○日後から表示するスクリプト
<input type="checkbox"/> images	各種画像が入っているフォルダ

※赤字は修正するであろうファイル

動的ファイル群(プログラム系)

動的ファイルはCGI本体や、関連するDATファイルなどのファイルです。プログラムをcgi-binフォルダ内に設置しなければならないサーバなどではcgi-binフォルダにアップします。

<input checked="" type="checkbox"/> mailformpro 755	メールフォームプログラムのフォルダ
+ send.cgi 755	プログラム本体
+ config.cgi	設定ファイル
+ function.cgi	ライブラリファイル
+ include.cgi 755	アクセス解析用プログラム
+ check.cgi 755	プログラムの設置確認プログラム
+ serial.dat 777	通し番号を記録するファイル
+ time.dat 777	合計入力時間を記録するファイル
+ unique.dat 777	ユニークユーザ数を記録するファイル
+ htaccess.txt	htaccessのサンプルテキストファイル
<input checked="" type="checkbox"/> postcodes	郵便番号辞書のフォルダ
+ get.cgi 755	プログラム本体
+ postcode.js	Ajaxで住所を呼び出すスクリプト
+ 00 - 99.cgi	郵便番号辞書ファイル

※赤字は修正するであろうファイル



アップロードする前に確認すること

CONFIRM IT BEFORE IT UP-LOADS IT.

アップロードする前にまず、以下の点を確認してください。またソフトの設定を変えておくことあとで便利です。

CGIが動くサーバかどうか

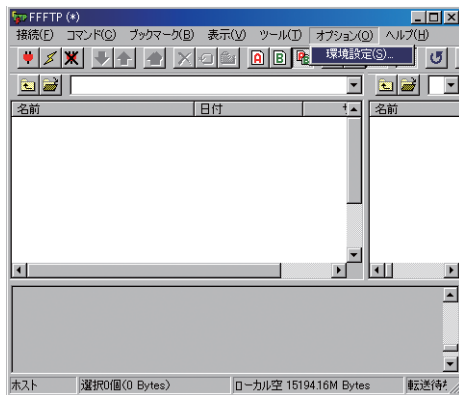
CGIが動くサーバかどうかをまず確認しましょう。レンタルサーバ会社のホームページのFAQページに大体掲載されています。その際に「Perlのパス」も確認してください。

sendmailが動くサーバかどうか

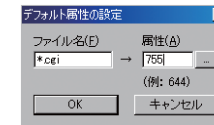
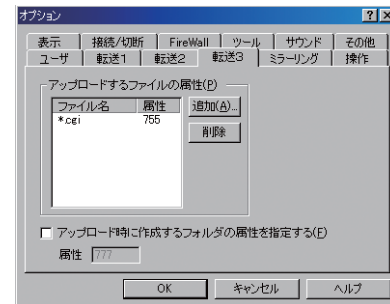
このプログラムではサーバのsendmailという機能を使ってメールを送信します。sendmailが使えるサーバかどうかを確認しましょう。大体使えると思いますが。

FFFTPでアップする場合、設定を変更しておこう

多くのWindowsユーザが使ってるFFFTPですが、ちょっと設定しておくことCGIの設置が格段にスムーズになります。以下の手順でFFFTPの設定を変更しておくこと、以後、別なCGIを設置する時も俄然楽になりますのでぜひ設定を。



FFFTPを起動してメニューバーにある「オプション(O)」→「環境設定(S)」を開きます。すると以下のウィンドウが表示されます。



「追加(A)」をクリックすると左記のウィンドウが表示されるので、まずファイル名(F)のところ半角英数で

***.cgi** (アスタリスク・ドット・シー・ジー・アイ)

と入力し、「属性(A)」のところ

755

と入力しましょう。この設定をする事によって、以後、CGIファイルをアップする際は自動的にパーミッションが755に設定されます。同様にphpなども設定できるので、phpなどをよくアップロードする方はぜひ設定しておこう。



このページでは最も簡単な設置方法を解説しています。

どこでもCGIが動くサーバの場合

今ではこちらのほうが一般的かな？どんなフォルダでもCGIが実行できるサーバの方はコチラの手順をどうぞ。

01. 設置したいフォルダにファイルを全部アップする

もう全部まとめてゴチャッとアップロードしてください。あとで他のファイルと混同しないように、テキトーなフォルダを作って、その中に一式アップロードすると便利です。

02. パーミッションを設定する

1ページ目で解説している通り、パーミッションを設定します。

03. チェックするCGIにアクセスする

「mailformpro」フォルダ内にあるcheck.cgiにブラウザからアクセスしてみましょう。500エラーやInternal Server Errorが表示されたら、check.cgiのPerlのパスを確認して下さい。

04. 各種設定を変更する

config.cgi内に記載されている各種設定項目を変更すれば、ひとまずサンプルのフォームからメールを送信できるようになったと思います。

05. 神に祈りを捧げ、世界平和を願ってください。

あとは動くかどうかは神様次第です。
動かない場合は、世界平和について真剣に考え、強く世界平和を願ってください。

cgi-binなど特定のフォルダでしか動かない場合

cgi-binやcgi-localフォルダ内じゃないとCGIが動かせないサーバをご利用の方はコチラの手順をどうぞ。

01. 設置したいフォルダに静的ファイル群をアップする

まずHTMLなどが置かれているフォルダ内に1ページ目で解説している「静的ファイル群」をアップします。テキトーなフォルダを作ってその中にアップロードするとゴチャゴチャにならずあとから便利です。またHTML内で指定されているsend.cgi、include.cgi、postcodes/get.cgi?jsまでのパスを変更してください。

02. cgi-binフォルダ内に動的ファイル群をアップする

cgi-binやcgi-localなどプログラムが動作するフォルダの中にフォルダを作ってその中に「動的ファイル群」をアップします。

03. パーミッションを設定する

1ページ目で解説している通りパーミッションを設定します。

04. チェックするCGIにアクセスする

「mailformpro」フォルダ内にあるcheck.cgiにブラウザからアクセスしてみましょう。500エラーやInternal Server Errorが表示されたら、check.cgiのPerlのパスを確認して下さい。

05. 各種設定を変更する

config.cgi内に記載されている各種設定項目を変更すれば、ひとまずサンプルのフォームからメールを送信できるようになったと思います。

圧倒的なユーザビリティ

OVERWHELMING USABILITY

メールフォームプロのユーザビリティ関連機能に関するご紹介。



レジューム(入力内容保持)

一度入力された内容はブラウザを閉じるまで保持されます。うっかり戻るボタンを押して、時間を掛けて入力した内容がパァ！なんて事を防ぎます。

郵便番号から住所自動入力

住所打つのメンドクサイムキー！ってならない！しかもAJAXだからスパッと住所が勝手に出てくる！

自動フリガナ入力

名前などを入力すると自動的にフリガナをふっくれる！親切！丁寧！真心！フリガナ打つのメンドクサイムキー！てならない！

ENTERで次の入力へ

ENTER押したら確認画面いっちゃってムキー！ってならない！ちゃんと次の入力項目にいてくれる！偉い！親切！

入力中の場所がわかる

いま入力している場所がどこかすぐわかるように、自動的に背景に色が付きます。どこを入力してたっけムキー！ってならない。

リアルタイムチェック

確認画面に行く前に、自動で必須項目やメールアドレスのチェックをしてくれるから、確認画面まで行ってまた入力ってのがない！

エラー箇所がわかりやすい

エラー部分にはエラーテキストを表示させたり、項目の背景色が変わったりと、エラーの部分がどこかパッとわかる！

エラーにフォーカス

確認画面でエラーが出た場合、そのエラーの入力項目に自動的にフォーカスが当たる！「未入力の場所はどこだムキー！」ってならない。

たぶん業界初！音声ガイダンス

MP3ファイルを用意して頂ければ、確認を促すメッセージと、エラーを警告するメッセージを音声で流せます！でもたぶん迷惑！

革新的な簡単設計

REFORMATIVE, EASY DESIGN



メールフォームプロの設置の簡単さに関するご紹介です。

項目の追加・削除はHTMLだけで

項目の追加や削除はHTMLを修正するだけ。CGI側に手を加える必要は一切ありません。

必須項目もHTMLで指定するだけ

必須項目の設定もHTMLの項目名に「(必須)」と入れるだけで簡単に必須項目になります。

環境チェック機能で簡単チェック

環境チェックプログラムにアクセスすればsendmailのパスやJcodeモジュールの有無、設定の可否などをチェックして答えを出してくれます。

cgi-binフォルダ型サーバも安心

cgi-binフォルダでしかCGIが動かないサーバでも、簡単設計だから、フォルダ毎に別々にアップすれば簡単に設置可能。

ほぼアップロードするだけで動く

基本的にはアップロードして、config.cgiをちょっぴり修正すればすぐに動作します。

驚くほど多彩な多機能

SURPRISING MULTIFUNCTION

メールフォームプロの様々な機能に関するご紹介。



コンバージョンレート算出

フォームに来た人の何%が送信に至ったかを自動で計算！それによってフォーム改修の対策と傾向を分析できるぞ！

入力時間／入力平均時間取得

フォームの入力に何秒掛かったかを取得！そして入力平均時間をフォームに表示することもできるぞ！

リファラーを取得

どのページからフォームにたどり着いて送信に至ったかを把握できるぞ！ユーザの傾向分析に役立つこと請け合い！

テキスト自動整形

半角カタカナは全角カタカナへ、全角英数字は半角英数字、外字は自動的にそれっぽい文字に勝手に整形しちゃうよ！

メール自由整形

自動返信メールや管理者に届くメールを細部に渡って細かく設定できるぜっ！キレイなメールが一番なものねっ！

自動返信メール

フォームから送信すると自動的にメールを返してくれるよ！フォームに入力された情報を使うことができるからいろいろと便利さっ！

期限設定

フォームの有効期限を設定できるぜ！いつからいつまでみたいな。深夜にアップ作業しなくて済むぜ！

送信数限度設定

応募定数が決まっている場合など、便利な機能だぜ！応募定数までいくと自動的にフォームが隠れます。

スパムブロック

全て英文のメールや、スパムっぽい語句が含まれたメールは勝手にブロック！広告イクナイ！

全ての機能一覧

ALL FUNCTION LISTS



メールフォームプロに実装されている全ての機能と、初期設定です。

	初期設定	説明
CSVログ保存／ダウンロード	×	送信履歴をCSVファイルに保存します。初期状態は無効です。有効にするためにはログファイル名とパスワードを設定します。
自動返信メール	○	お客様が入力する項目名に「email」又は「email(必須)」がある場合、入力されたアドレス宛に自動返信メールを送信します。無効にもできます。
別ドメインからの発信制限	○	別なドメインからメールが送信されようとした場合、それを拒否します。
スパムブロック	○	入力内容が全て英語だった場合、又はスパムがよく使うタグが挿入されていた場合、エラー画面を返します。
コンバージョンレート計算	○	閲覧した人間のうちの何%が送信に至ったかをメールに記載します。
入力時間取得	○	フォームを送信してきたユーザが全ての入力に何秒掛かったかをメールに記載します。
入力平均時間表示	×	フォームの平均入力時間をフォームに表示させます。初期値は無効です。表示させる方法は後述しています。
件名に通り番号割り当て	○	件名に4桁の通り番号をつけます。オプションを有効にすると通り番号がちょっとだけわかりづらくなります。
音声ガイダンス	×	入力エラー時と、確認画面表示時に音声が出力されます。初期値は無効です。
受付番号をサンクスページに渡す	○	受付番号(通り番号)をサンクスページに渡します。アフィリエイトタグ等を設定する場合にもそのまま応用できます。詳細はthanks.jsファイルを。
項目連結	○	生年月日や住所などの別々の項目をまとめてひとつの項目にします。項目の前や後に単位を付けたり確認画面でのみ連結する事もできます。
オシャレな確認画面	○	Javascriptを使ったちょっとオシャレでスキスキな確認画面を表示できます。無効にすることもできます。
リファラーを取得	○	フォームにたどり着く前のURLを取得し、メール内に記載します。2.0.7以降のバージョンではサイトはどこから辿り付いたかを取得できます。
テキスト自動整形	○	半角カタカナは全角カタカナに、全角英数は半角英数に、外字は該当する代替テキストに自動的に整形します。
メール自由整形	○	自動返信メールや管理者に届くメールを自由に設定できます。入力された値をそのまま使うこともできます。
レジューム／入力内容保持	○	お客様がフォームに入力した内容がブラウザを閉じるまで保持されます。別なページに行って戻ってきても残ってます。
郵便番号から住所自動入力	○	郵便番号から住所を自動的に入力します。初期値では3つのエレメントに値が渡されます。
自動フリガナ	○	入力された内容から特定のエレメントにフリガナを自動挿入します。
メールの宛先複数指定	○	管理者に送信するメールの宛先を複数指定できます。
期間制限	×	フォームを送信できる開始日と終了日を設定できます。初期値は無効です。config.cgi内で設定します。
送信数制限	×	送信数の限度を設定できます。応募定数など、何件に達した時点でフォームを隠せます。初期値は無効です。config.cgi内で設定します。

急遽アップデートしてしまった2.0.7に追加された新機能の使い方と紹介。



革新的マイナーアップデート 2.0.6 → 2.0.7

どういふキーワードでホームページに辿り付いてメールフォームから送信してきたかわかるようになりました。

Analyticsでもわかりますが、照合するのメンドクサイじゃないですかあ！革新的じゃない！？そうでもない！？

サイトに辿り付く前のURL取得	たとえばGoogleやYahooから検索で辿り付いた場合、どういふキーワードで検索して辿りついて送信に至ったかをトレースするためのスクリプトを追加しました。すいません突然で、雷に打たれたような衝撃だったものですから、つい勢いで実装してしまいました。基本的に2.0.6からの変更点は以下の通りです。
2.0.6からの変更点	運悪く2.0.6をダウンロードしてしまった方へ(2.0.6はこのページが追加される前のバージョンです) 3.5ページ目にも記載されておりますが、HTML側にはform内に <code><input type="hidden" name="sitein_referrer" value="" /></code> 上記の1行を追加するだけです。すでに2.0.6を設置されている方は、mailform.js、function.cgiを上書きしてください。 config.cgiやsend.cgi等に変更点はありません。
使い方	commonsフォルダ内にある「trace.js」といふファイルを全ページからインクルードします。 <code><script type="text/javascript" src="commonsフォルダまでのパス/trace.js"></script></code> と記述します。全ページから参照すると各ページに外部サイトからアクセスされた場合、cookieにどこのURLからサイトに入ったかが記録されます。そこでメールフォームから送信に至った場合に、そのURLが取得できます。

各機能の詳細説明(補足)

DETAILED EXPLANATION OF EACH FUNCTION



メールフォームプロ2.1.2に追加された新機能の使い方と紹介。

シンプルヘッダ	一部、共有SSL利用時や一部のレンタルサーバでメール本文内に変な記述が表示される際はメールヘッダによる問題のため、function.cgi内のシンプルヘッダ機能を有効にしてください。
選択可能な日付スクリプト	日付のドリルダウン用スクリプトを付けていましたが、使いづらいと気付いたので純粋に今日から○日以後の○日分の日付をリストアップするというスクリプトをくっつけてみました。定休日なども指定できます。 ご利用になる場合はcommonsフォルダ内の「choice_date.js」を編集します。詳細はjsファイルの中身を見ていただくとなんとなくわかると思います。
確認画面カスタマイズ	画像以外でも良いのですがthの中にHTMLを入れたい場合は以下のタグをどこかに用意しておきましょう。 <div id="mfp_th_エレメント名">この中が見出し(th)内に表示されます</div> <div id="mfp_td_エレメント名">この中が入力された値の下(td)内に表示されます</div> ※エレメント名は (必須) を除く確認画面に表示されるテキストをそのまま入力してください。 詳細はexample.htmlをご参照のこと。
ドロップ機能	別なページから値の受け渡しが可能になりました。 詳細はdrop.htmlを見て下さい。

各機能の詳細説明(1)

DETAILED EXPLANATION OF EACH FUNCTION

各機能の使い方や詳細な説明。



項目の追加・削除	項目の追加・削除はHTML側で設定します。<form>タグ内に入れたいinputタグやselectタグ、textareaタグを挿入し、name属性に項目の名称を日本語で設定して下さい。hidden以外のタグにはclass="mfp"を設定して下さい。
必須項目の設定	テキストフィールド、テキストエリア、セレクトタグなどを必須項目にする場合はname="項目名(必須)"と言うように項目名の後ろに「(必須)」を入れてください。また、チェックボックスで「X個以上を必ずチェック」という場合、上記と同様にname="項目名(必須)X"と言うようにXの部分に半角の数字を入れてください。 また、必須項目の場合、以下のタグをHTML内に記載する事でフォーカスが外れた際にエラーテキストが表示されます。 <code><div id="errmsg_お名前" class="mfp_err"></div></code> 「お名前」の部分は(必須)を除いたエレメント名を指定してください。
環境チェック	環境チェックではsendmailのパスやJcodeモジュールがインストールされているかどうかなどをチェックします。チェックの方法は、サーバにアップしパーミッションを755に変更後、check.cgiにアクセスするだけです。 サンプルのURLでは以下のようなURLになります。 http://cgi.synck.com/mailform/pro2.0.0/mailformpro/check.cgi
CSVログ保存／ダウンロード	CSVログ保存機能とダウンロード機能を有効にするためには、config.cgi内でログファイルのファイル名、ダウンロード・削除時のパスワードを設定する必要があります。config.cgi内の以下の部分の頭の#を削除し、passwordの部分にパスワードを設定して下さい。個人情報等を扱う場合は、情報の取扱に最大限に注意して下さい。 <code>#\$config{"log_file"} = 'postlog.cgi';</code> <code>#\$config{"password"} = 'password';</code>

各機能の詳細説明(2)

DETAILED EXPLANATION OF EACH FUNCTION



各機能の使い方や詳細な説明。

自動返信メール	自動返信メールの設定はconfig.cgi内で行われます。メールフォームで「 email 」又は「 email(必須) 」というname属性の値に入力されたメールアドレス宛に自動返信メールが送信されます。これを無効にする場合は、config.cgi内の <code>\$config["return_subject"] = 'お問い合わせありがとうございました';</code> という部分の頭に半角の # を入力して下さい。 また、件名や本文の変更は\$config["return_subject"]と、\$config["return_body"]に設定します。
別ドメインからの発信制限	別ドメインからの発信制限はリファラー(送信元)とプログラムのlocationでジャッジします。そのためhttpからhttpsへポストする場合や、cgiを特殊なサブドメイン下で動かさなければならない場合はこの設定を無効にして下さい。設定を無効にする場合は <code>\$config["domain"] = \$ENV["HTTP_HOST"];</code> という部分を <code>\$config["domain"] = 0;</code> として下さい。
スパムブロック	スパムブロックではリンク埋め込み型スパムと全英文スパムをブロックします。無効にする場合は <code>\$config["english_spam"] = 0;</code> <code>\$config["link_spam"] = 0;</code> の 0 を 1 に変えてください。
コンバージョンレート計算	コンバージョンレート計算はプログラムが自動に行い、設定に変更を加える事はできません。 計算を最初からやりなおす場合は、通し番号ファイル「serial.dat」と「unique.dat」のファイルの中を半角英数の1にして上書きして下さい。※改行は含めないで下さい。

各機能の詳細説明(3)

DETAILED EXPLANATION OF EACH FUNCTION



各機能の使い方や詳細な説明。

入力時間取得	入力時間の取得は自動で行われます。入力時間をメール内に含めたい場合は、メール本文又は自動返信メール本文の設定内に、 <code><input_time></code> という文字を含めます。
入力平均時間表示	入力平均時間を表示するためにはメールフォームのHTML内に以下のDIVタグを配置してください。 <code><div id="input_time_disp" class="mfp_disp"></div></code> 配置した場所にconfig.cgi内の <code>\$config["input_time_format"]</code> で指定した書式で表示されます。
件名に通し番号割り当て	件名に4桁の連番が割り当てられます。無効にする場合は、 <code>\$config["return_subject_serial"] = 1;</code> の1を0にして下さい。また、単純な連番ではなく連番が露見しづらい20090123001というような形式にしたい場合は <code>\$config["return_subject_serial_date"] = 0;</code> の0を1にして下さい。
音声ガイダンス	音声ガイダンスを有効にする場合はHTMLのどこかに <code><div id="mfp_se"></div></code> を配置してください。 音声ファイルを差し替える場合は、commonsフォルダ内のconfirm.mp3とerror.mp3を差し替えてください。

各機能の詳細説明(4)

DETAILED EXPLANATION OF EACH FUNCTION

各機能の使い方や詳細な説明。



受付番号をサンクスページに	受付番号をサンクスページに渡す場合、サンクスページでcommonsフォルダ内のthanks.jsをscriptタグで読み込んでください。詳細はthanks.jsファイルに記載されていますが、変数str内に受付番号が読み込まれます。アフィリエイトタグなどを出力する場合は変数strで受け取った値を使い、画像タグなどを出力することができます。
項目連結	項目を連結する場合、以下のように指定します。 <input type="hidden" name="連結した際の項目名[join]年(必須)+年+月(必須)+月+日(必須)+日" value="" /> 連結後の項目名と連結対象の項目名が重複するとエラーになります。また連結指定は必ず連結対象の前で定義して下さい。 [join] の部分をも [unjoin] とする事で確認画面でのみ連結することができます。 また、応用すると特定のエレメントに単位だけをつけることもできます。 <input type="hidden" name="面積[join]床面積(必須)+㎡" value="" />
オシャレな確認画面	オシャレな確認画面を無効にする場合、HTML内に記載されている以下の値を変更します。 <input type="hidden" name="mailform_confirm_mode" value="1" /> の 1 を 0 にします。 また、このhiddenエレメントをcheckboxエレメントに変更する事で、確認画面の有無をユーザに選択させることができます。
リファラーを取得	リファラーは勝手に取得されます。 ダイレクトアクセスの場合は表示されません。

各機能の詳細説明(5)

DETAILED EXPLANATION OF EACH FUNCTION

各機能の使い方や詳細な説明。



テキスト自動整形	テキスト自動整形はエレメントからフォーカスが外れた際にjavascriptによって自動で行われます。
メール自由整形	メール自由整形はconfig.cgi内で指定します。お客様によって入力された情報をメール内で使う場合は、例えばname="お名前(必須)"と指定されている項目の値を使う場合は(必須)を除いて<お名前>と記述することによって入力された値がその場所に表示されます。また以下のようにいくつかの特殊な識別子も用意されています。 <resbody>:送信内容一式 / <date>:日付 / <serial>:通し番号 / <input_time>:入力秒数 / <http_referer>:リファラー
レジューム／入力内容保持	レジューム機能はJavascriptによって自動で行われます。cookie内に情報が保持されますが、ブラウザを閉じるタイミングで保持した情報は削除されます。cookieに記録するタイミングはエレメントからフォーカスが外れたときです。
郵便番号から住所自動入力	郵便番号から住所を自動入力する場合は、郵便番号が入力されるエレメントに以下の指定をします。 <input type="text" name="郵便番号" onblur="mfpc(this.form.id,this.name,'都道府県(必須)';'市区町村(必須)';'丁目番地(必須)');" class="mfp" /> 「都道府県(必須)」・「市区町村(必須)」・「丁目番地(必須)」は各値を挿入するエレメント名です。

各機能の詳細説明(6)

DETAILED EXPLANATION OF EACH FUNCTION



各機能の使い方や詳細な説明。

自動フリガナ	<p>自動フリガナ機能を使う場合、入力をトレースしたいエレメントに以下の指定をします。</p> <pre><input type="text" name="お名前(必須)" class="mfp" onkeyup="inputTyping(this.form.id,'フリガナ',event.keyCode)" /></pre> <p>「フリガナ」の部分はフリガナを挿入するエレメント名を指定してください。</p>
メールの宛先複数指定	<p>メールの宛先を複数指定する場合はconfig.cgi内の@mailtoを以下のように指定します。</p> <pre>@mailto = ('xxxxx@example.jp','yyyyy@example.jp');</pre> <p>半角のシングルクォーテーション(!)でくられたメールアドレスを半角のカンマ(,)で区切って指定してください。</p>
期間制限	<p>期間制限は初期値では無効です。有効にするためにはconfig.cgi内の以下の部分の行頭の#を外して期間を指定してください。</p> <pre>#\$config{"expires"} = '2009-03-22 06:30:00'; #\$config{"expires_break"} = '2009-01-22 06:21:00'; #\$config{"error_url"} = 'http://cgi.synck.com/mailform/pro2.0.0/error.html';</pre> <p>期間制限に関するアナウンスをメールフォーム内で表示する場合はHTML内に以下のタグを記載してください。</p> <pre><div id="expires_time_disp" class="mfp_disp"></div></pre>
送信数制限	<p>送信数制限は初期値では無効です。有効にするためにはconfig.cgi内の以下の部分の行頭の#を外して数値を指定してください。</p> <pre>#\$config{"limit"} = 100; #\$config{"error_url"} = 'http://cgi.synck.com/mailform/pro2.0.0/error.html';</pre> <p>送信数制限に関するアナウンスをメールフォーム内で表示する場合はHTML内に以下のタグを記載してください。</p> <pre><div id="limit_disp" class="mfp_disp"></div></pre>

よくある質問

FAQ



サポートフォームから寄せられるよくある質問。あるある。

確認画面が表示されない	確認画面が表示されない場合は100%、Javascriptが動作していません。HTMLがShift_JISじゃないか、また、scriptタグからmailform.jsが正常に読み込まれているかどうかご確認ください。
サーバーエラーになる	INTERNAL SERVER ERRORや500 ERRORと表示される場合、プログラムが正常に動作していません。check.cgiを実行させて原因を確かめてください。check.cgiも動かない場合はPerlのパスを確認してください。
自動返信メールが届かない	メールアドレスの入力欄が「email」または「email(必須)」になっている事をご確認ください。また、入力欄に入力されたメールアドレスと宛先のメールアドレスが同一の場合も自動返信メールは送信されません。
政治家はなにをやってるんだ	政治家は一生懸命、国のために頑張っています。昨今のメディアによる政治批判の嵐は私としてはどうかと思います。批判や中傷ばかりしていて、国が本当によくなれば良いですが、批判や中傷から品位のある国になりえるとは到底思えません。民主党への政権交代が果たして吉と出るのか凶とでるのか。いや、国家をよくするのは政治でも政権でもなくまぎれも無く国民なのだ。立てよ国民！性欲をモチベーションに変えて！今こそ立ち上がる時なのだ！政治は政治家にやらせておけばいい！国民はそれを信頼して、ただ毎日の生活に全力を費やすのみ。がんばろう日本！というか頑張ろう日本国民！ウォー！

注意事項

NOTANDUM



メールフォーム プロをご利用になる際の注意事項。

著作権について	著作権表示の必要はありません。もちろんリンクをはる義務もありません。どうしてもリンクを貼りたいよっ！という場合は逆にほっていただいて本当に光栄でございます。ただ、本プログラムの著作権を放棄したわけではないので、再配布、ダウンロード販売などは禁止させていただきますが、設置代行等で金を取る分には大いに儲けてください。
サポートについて	サポートは原則無料で出来る限りはやっていきたいと思っています。問い合わせる前にちゃんとマニュアル読んでねっ！ ただ、無料なので電話での問い合わせはご勘弁ください。 有償対応 もあるんで… 有償対応 もあるのでっ！あ、2回も言っちゃった。 急ぎで！という人は有償での設置代行をご検討ください。ぜひっ！
免責事項	本プログラムをご利用になって発生した如何なる損害・問題においても責任を負いかねます。ご利用は自己責任にてご利用下さい。特に注意して頂きたいのは「ログのCSV保存」機能です。サーバ上に情報を蓄積するという行為はセキュリティ上、多くの危険因子を孕んでおります。情報漏洩等の問題が発生した場合においても、責任を負いかねますのでお気をつけてご利用下さい。
世界平和について	未曾有の大不況の中、どうなるんだ世界。という昨今ですが、世界平和はみなさまひとりひとりの気持ちによって実現する事は言うまでもありません。人に親切にする。親切にされた人がまた誰かに親切にする。結局、人間社会は人と人との心の調和の上に成り立っているといっても過言ではないでしょう。ほんの少しの気配りや気遣いをわすれず。また、気配りや気遣いができるだけの心のゆとりが必要ですね。みんなが今よりもちょっと、他人のことを思いやることができれば、世界平和なんてあっという間に実現するでしょう。さあ、あなたも今日から世界平和のためにちょっぴり親切なヤツになりましょう。



設置代行・有償対応について

ABOUT AN INSTALLATION AGENCY AND CORRESPONDENCE FOR A FEE

メールフォーム プロの設置代行及び有償での対応について。

設置代行	メールフォーム プロの設置代行は有料ですがやっています。設置料は10,500円(税込)になります。 最短で4時間程度、大よそ2営業日以内には大体設置できますので、お急ぎの場合や、どうしても設置ができない場合は、ホームページよりご依頼ください。
カスタマイズ	添付ファイルを付けたい場合や、金額が連動する見積フォームにしたい場合など、各種カスタマイズも承っております。 カスタマイズ内容によって金額は上下しますが、その辺も含めてホームページよりお問い合わせください。
その他の有償対応	ケースにもよりますが無償サポートの域を超えと！と判断される場合は、有償対応になる場合があるかもしれません。 いや、たぶんそういうケースは無いと思いますが、一応書いておきますね。 逆に有償対応希望！みたいな方がいたらぜひお問い合わせください。
診断・コンサルティング	いつまでたってもサッパリお問い合わせがこない！という場合はぜひご相談ください。ご相談・診断は無料でやっています。 いままで手がけてきたサイトはたぶん三桁は下らないと思いますので、その実績やノウハウの中からなんかテキトーにアドバイスのことを言わせて頂きますね。診断・コンサルティングに関する事もホームページからお問い合わせ下さい。

この度は、メールフォームプロをダウンロードして頂いて、マニュアルまで見てもらっちゃって、本当にありがとうございます。なんだか無駄にダラダラ長くて読みづらいマニュアルになったかなと反省しております。

メールフォームを作ってる和田と申します。早いものでメールフォームを公開しはじめてから6年くらいの歳月が経とうとしております。長いね。

安定感を求めて

一番心を砕いたのは安定感・安心感という一点のみ。サポートへの問い合わせが多いってことはそれだけ、安定感や簡易性を欠いているってことだから、なるべく設置しやすいように作ったつもりです。複数設置しやすいとか、念頭に置いたのが制作会社が数多く作るサイトにスムーズに取り入れられるかどうかって点ですね。

究極というカタチへ一歩前進した

今回のバージョンアップで、このメールフォームは確実に究極に一歩近づいたと言えるんじゃないかなって自分では思っています。たかがメールフォームですが、B2Bにとっては生命線。だからこそ、メールフォームを究極のカタチまで持っていくという事には意味があるんじゃないかなと思います。

願わくばこのプログラムで少しでも多くの幸福が生まれますように。

2009年11月01日 SYNCK GRAPHICA 和田 憲幸

ダウンロード特典 和田憲幸特製ブロマイド



開発者 和田憲幸のブロマイドです。切り取って定期券入れの中にそっと忍ばせてください。



Synchronization + Think
(合致させること) (考えること)

SYNCKGRAPHICA(シンクグラフィカ)は収益性を考えず意味があるものを真剣に作るために組織されたクリエイタグループ(企業じゃありません)です。

「**なんのために(目的)**」、「**誰のために(対象)**」、「**どうやって(手段)**」を考え、価値があり意味があるものをじっくり創りあげることが目的として結成されました。マーケットのニーズとお客様の意向を合致させ、より深く熟考し練り上げられた創作物を提供することを目標としております。

業務内容 **プログラム開発(Perl・PHP・Javascript)**
Web デザイン・インターフェースデザイン・Web コンサル

SYNCKGRAPHICA (シンクグラフィカ)

〒003-0801 札幌市白石区菊水一条四丁目一番三十九号
TEL : 011-832-8698 FAX : 011-832-8698

メールフォーム CGI

検索

MOBILE SITE

